

【5】各部・各学年の目標及び基本方針

1. 教務部

1. 目標

教育活動の内容の充実をはかり、各部・各学年間の連絡調整に努める。

2. 基本方針

(1) 学習活動の成果を高める。

① 授業日数、時数の確保に努める。

② 教育課程の検討・充実・発展に努める。

③ 学校行事の効率的推進に努める。

(2) 校務の処理の適正化を図る。

① 諸会合の定刻開会及び定刻閉会を励行する。

② 会議録・会議資料の整理保管に努める。

③ 教務関係の諸書類の整理保管に努める。

④ 内規の適切な運用を図る。

(3) 各種委員会の活性化を推進する。

(4) 中高一貫教育校の事務局として、研究会等の円滑な運営に努め、連携校との情報交換及び、協力体制を図る。

(5) 入試業務の適切な企画運営に努める。

(6) 進路支援システム等、校務の効率化を図る。

(7) PTA 活動の活性化を推進する。

2. 進路指導部

1. 目標

進路学習は将来に夢を抱き、人間としての在り方、生き方を学びつつ、人生を設計することである。生徒が自ら積極的にその為の学習や努力をし、自分にふさわしい進路を選択決定できるような能力・態度を育成する。

2. 基本方針

(1) 進路資料室の活用を促し、進路に関する積極的な情報提供を行う。

(2) 課外講座・模擬試験への積極的参加を促し、継続的に取り組ませる。

(3) 担任・家庭との連携を図り、全学年にわたって進路指導に取り組む。

(4) 個人面談の機会を設け、生徒一人ひとりに応じた進路指導を行う。

(5) 各HRの進路委員を中心に、生徒自ら進路学習に取り組むよう指導する。

3. 生徒支援部（生徒指導）

1. 目標

基本的な生活習慣を身につけさせ、規律ある生活態度を養うとともに、生徒が自ら「命と心」を大切に、主体的に判断し、行動できる能力を育てる。

2. 基本方針

(1) HR 担任、教科担任、学年会、保護者との連携を強化し、迅速な生徒指導を行う。

(2) 規則の徹底

① 勤怠指導を強化し、特に欠席数は前年度比より減を目指す。

② 身なりを整える習慣を身につけさせる。

③ けじめをつけ主体的に判断できる能力を身につけさせる。

④ 落ち着きのある学習環境をつくる。

⑤ 飲酒・喫煙の指導を徹底する。

(3) 安全教育・交通安全指導の徹底。

① 交通安全規則（取らない、乗らない）の遵守、及び交通マナーを正しく理解させる。

② バイク通学者に対する実技指導及び車両点検の実施。

③ 自転車通学者に対する安全指導。

④ 交通安全講話等の実施。

(4) 部活動の奨励

(5) 生徒会活動の活性化

(6) アルバイトについて

① アルバイト許可申請及び許可生徒への指導を徹底する。

生徒支援部（図書）

1. 目標

教育目標を達成するために必要な図書及び資料を収集・整理・保管し、職員・生徒に提供して有効利用を図る。

2. 基本方針

(1) 生徒 1 人あたり年間 12 冊以上を貸し出しする。

(2) 資料の収集・整理に努め有効利用できるように保管する。

(3) 図書委員会を月 1 回開き委員会の活性を図る。

(4) 読書活動の活性化に努め、生徒・職員に資料を提供する。

(5) 各教科、HR と連携を密にし、学習に寄与できる資料の提示及び広報活動を行う。

生徒支援部（環境保健）

1. 目標

- (1) 全生徒・職員が一致協力して校舎内外をきれいにし、環境教育の一環として、清潔で落ち着いた学習環境づくりに努める。
- (2) 心身ともに健康な状態を身につけさせ、自ら健康を保持・増進する習慣を養う。
- (3) 生徒との信頼関係を築き、個々に合った話し合いを基に、適切な支援を行う。

2. 基本方針

- (1) 公共物を大切にし、施設の維持管理に努める。
 - ① 施設安全点検に務め、不備な箇所を改善し生徒の安全を確保する。
 - ② 普通教室はクラス担任が責任を持って管理する。
 - ③ 生徒の机・椅子は生徒各自で管理する。
- (2) 分担区域は責任を持って清掃し、常に清潔に保つ心構えを養う。
 - ① 美化意識を高め、清掃の習慣を定着させる。
 - ② 原則として、毎学期1回大清掃をする。
 - ③ 校内美化のため、原則として全校生徒、職員（教育職）は年に1時間ずつ美化作業を行う。
 - ④ ごみの分別をきちんと行う。
- (3) 校内美化計画の推進を図る。
- (4) 自己の健康に関心を持ち、心身の健康の保持・増進を図ることのできる力を育てる。
 - ① 定期健診の受診率を上げ、事後措置に努める。
 - ② 自他の生命を大切にすることができる生徒の育成に努める。
 - ③ 健康に関する情報を提供し、健康管理についての関心を高める。
 - ④ 学校環境衛生管理を計画的に行う。
- (5) 生徒保健委員会、美化委員会の活性化を図る。
- (6) 生徒の教育相談の充実を図る。
 - ① 信頼関係を構築し、生徒理解に努める。
 - ② スクールカウンセラーや各関係機関との連携を図る。

4. 農場部

1. 目標

農業生物の栽培や飼養及び農業経営に関する知識と技術を習得させ、園芸を中心とする農業経営者や農業技術者として必要な能力・態度を育てる。

(1) 園芸科

- ①農業生物の栽培や飼育に関する知識と技術を習得させる。
- ②園芸を中心とする、農業技術者として必要な能力・態度を育てる。
- ③農業を通して、農業環境に対する知識と理解を深める。
- ④資格（危険物取扱・室内園芸装飾、他）取得を推奨する。

2. 基本方針

農業生物の栽培や飼養に関心を持ち、育む心を育て、進んで農業や農村社会を改善する態度を養う。

3. 本年度の努力目標

- (1)新しい教育内容の精選と、指導方法の工夫・改善に努める。
- (2)農場及び実験実習室の整備と効率的運用を図り、実験・実習の充実に努める。
- (3)農場運営（農薬及び機械・器具の取り扱い）に留意し、生徒の安全と事故防止に努める。
- (4)持続可能な環境保全型農業を推進する。
- (5)学校農業クラブ活動の活性化を図る。
- (6)関連資格取得の推進を行う。
- (7)学科職員間の連携を深め、生徒指導や進路指導、教科指導を強化する。
- (8)各関係団体と連携し、魅力ある活動をPRする。
- (9)新類型設置に向けた教材研究および農業実習棟の改築に伴う施設設備の充実に努める。

5. 事務部

1. 目標

本校教育目標の達成及び学校経営方針に基づき、各部・各学年と連携し適正な事務処理に務める。

2. 基本方針

- (1)学校経営方針に基づき事務処理の効率化と適性化を図る。
- (2)施設・設備の整備充実に努める。
- (3)事務職員研修の充実に努める。
- (4)公有財産の適正管理を図る。

6. 各学年

1 学年

1. 目標

- (1) 基本的な生活習慣の確立。
- (2) 基礎学力の向上及び学習習慣の確立。
- (3) 進路指導の推進。

2. 基本方針

- (1) 校則遵守（飲酒、喫煙、交通事故ゼロ）
- (2) 無届欠席・無届欠課・遅刻指導の徹底。
- (3) 服装容儀指導の徹底。
- (4) 意欲的な授業態度の向上。
- (5) 進路意識の向上。
- (6) ノーマライゼーションの実現に向けて個性を認め合う人格の育成。
- (7) 保護者及び地域との関わりを密にした連携の徹底。

2 学年

1. 目標

- (1) 基本的な生活習慣の形成と学習習慣の確立。
- (2) 進路指導を充実させ、早期の進路実現を促す。
- (3) 情報リテラシーを身につけることを促す。

2. 基本方針

- (1) 勤怠指導・服装容儀指導の徹底。
- (2) 飲酒・喫煙・交通安全の指導を徹底。
- (3) 学習環境の整備、公共施設を適切に利用することの徹底。
- (4) 進路学習を学年で取り組み、進路意識の向上を図る。
- (5) 保護者及び地域との連絡を密に対応する。

3 学年

1. 目標

- (1) 基本的な生活習慣の確立を目指す。
- (2) 進路決定率 95%以上を目指す。
- (3) 個に応じた進路支援の充実を図る。

2. 基本方針

- (1) 社会や学校の諸規則を遵守し、生命を大切にす安全教育の徹底。
- (2) 生徒の進路意識を啓発し、将来的展望に基づく進路の早期決定を図る。
- (3) 進路部及び保護者との連携を密にし、生徒の個別指導及び進路に関する資料収集や情報交換の充実を図る。
- (4) 目的意識を持った学習を促し、進路決定後も自己研鑽に努める態度を養う。

7. 各教科

国語

1. 目標

授業や課外活動等を通して、語彙力、読解力、表現力を身につけさせる。

2. 基本方針

- (1) 授業及び家庭学習を通して、基礎学力の定着・向上をはかる。
- (2) 各種検定(漢字検定、日本語検定等)の受検を奨励し、学期毎の実施を目指す。
- (3) 進路指導部と協力して、個別指導(小論文対策、面接対策等)を行う。
- (4) 図書館と協力して、生徒自ら目標を持って読書に親しむ環境を整える。

地理歴史・公民

1. 目標

- (1) 生徒の実態に応じて、きめ細かな指導を行い、基礎学力の定着を図る。
- (2) 地域の資源を活かした学習活動を取り入れる。
- (3) 生徒が興味関心を持ち、主体的に活動する場を設ける。

2. 基本方針

- (1) 個別指導、繰り返し指導を行い、基礎学力の定着を図る。
- (2) 外部講師や外部機関と連携し、地域とのつながりを深める。
- (3) 視聴覚教材を活用し、生徒の興味関心を高める授業展開に努める。

数学

1. 目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2. 基本方針

- (1) 基礎学力の定着及び発展的学力の向上を図る。
- (2) 学習習慣の定着を図る。
- (3) わかる授業、参加する授業を実践する。
- (4) 数学検定取得を推奨する。

理科

1. 目標

- (1) 科学的な事物・現象についての観察・実験などを行い、自然に対する関心や探求心を高める。
- (2) 基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。

2. 基本方針

- (1) 基礎学力の定着及び向上を図る。
- (2) 観察・実験を通して、生徒に興味関心を持たせるような授業展開を行う。

保健・体育

1. 目標

- (1) 心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的、計画的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
- (2) 健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。

2. 基本方針

- (1) 逞しく、健やかで、調和のとれた体力の維持向上を図る。
- (2) 自他を尊重する態度と健康・安全に留意した考動力を育成する。
- (3) 集合・整列や身なり、挨拶を含めた集団行動を徹底する。
- (4) 体育施設の適正使用を心がけ、環境美化と衛生管理に努める。
- (5) ICTを活用した「わかる授業」「できる授業」の構築を目指す。
- (6) 豊かなスポーツライフの基盤となる資質や能力を醸成する。

芸術

1. 目標

生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

- (1) 音楽活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と創造的な表現と鑑賞の能力を高める。

(音楽)

- (2) 美術の創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を学び楽しむための能力を養う。(美術)

- (3) 書に親しむ活動を通じて感情を豊かにし、自己を主体的に表現するための基礎的な技能を身に付ける。(書道)

2. 基本方針

- (1) 歌唱・器楽・鑑賞・音楽づくりを全ての学年で満遍なく学習させる。(音楽)
- (2) 授業内でテストを行い、基礎的知識の定着を図る。(音楽)
- (3) 学習への意欲を引き出し、知識・技能の定着や発想・構想の力を高めるため、授業の振り返りを

- はじめ表現・鑑賞の各場面でICT機器を活用する。（美術）
- (4) 生徒の実態に合わせた授業計画と教材研究に取り組み、学期末での授業評価アンケート満足度8割以上を目指す。（美術）
- (5) キャリア教育の視点を持ち、社会に出てからも役立つ学習指導に取り組む。（美術/書道）

外国語

1. 目標

- (1) 英語に対する興味・関心を高め、わかる授業・参加する授業の充実。
- (2) 語彙力を高め、基本的文法に対する理解を深める。
- (3) 実用英語技能検定試験取得を推奨する。
- (4) 国際交流の充実を図る。

2. 基本方針

- (1) 英語の4技能（読む・聞く・書く・話す）をバランスよく学習させる。
- (2) 授業内で定期的に英単語テストを行い、英文を読む際に文型を意識させる。
- (3) 英検2級6名、準2級10名以上の合格を目指す。
- (4) ハワイとの交流事業を通して異文化理解を深めさせる。

家庭

1. 目標

- (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図り、技能を身に付ける。
- (2) 家庭や地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を育てる。

2. 基本方針

- (1) 総授業時数のうち10分の5以上を実験・実習等に配当し、実生活に結びつく知識と技術を習得させる。
- (2) 視聴覚機器を有効に活用し、基礎的・基本的事項を習得させる。
- (3) ホームプロジェクト（問題解決学習）等をとおして、家庭生活上の課題を科学的に探求する方法や課題解決の能力を身に付けさせる。

情報

1. 目標

- (1) 情報化社会に適応できる基礎能力を身につける。
- (2) 各種検定試験の取得を推奨する。